

## 梶 哲夫 先生のご逝去を悼む



中等社会科教育学会の前身である筑波大学社会科教育学会では、副会長および編集委員長などを務められ、長年にわたって学会を支えられた梶哲夫先生が、平成24年2月にお亡くなりになりました。

梶哲夫先生は、大正14年8月2日に東京市浅草区にお生まれになり、東京高等師範学校附属中学校卒業後、東京高等師範学校文科一部、東京文理科大学哲学科倫理学専攻に進まれました。

その後、東京教育大学助手を経て、東京教育大学附属中学校・高等学校教諭に着任され、東京教育大学教育学部の講師を併任されました。その後、昭和41年9月には文部省初等中等教育局中等教育課に教科調査官として着任され、昭和47年4月には東京教育大学教育学部助教授となられ、同教授を歴任、同大学の閉学にかかわられるとともに、筑波大学の創設に尽くされました。

筑波大学では、特に大学院修士課程教育研究科の新設に参画され、とりわけ教科教育専攻の社会科教育コースの立ち上げに尽力されました。社会科コースがスタートした昭和54年4月からは、地理教育の朝倉隆太郎先生、歴史教育の横山十四男先生などとともに社会科コースの充実発展に大きく貢献されました。昭和63年4月までの3か年には教育研究科長として、研究科の運営と発展に大きな役割を果たされ、筑波大学退官後は早稲田大学などで教員養成などをされました。

学会活動等においても、先生は社会科教育・公民教育を中心に活躍され、本学会だけではなく、日本公民教育学会会長、日本社会科教育学会会長などをつとめられ、我が国の社会科教育・公民教育の充実・発展に大きな役割を果たしました。

心よりご冥福をお祈りいたします。

(桐蔭横浜大学 谷田部玲生)